

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年12月23日（火）

2 確認箇所

サブドレン中継タンクNo. 1～No. 3（図1）

3 確認項目

サブドレン中継タンクNo. 1～No. 3の設置状況

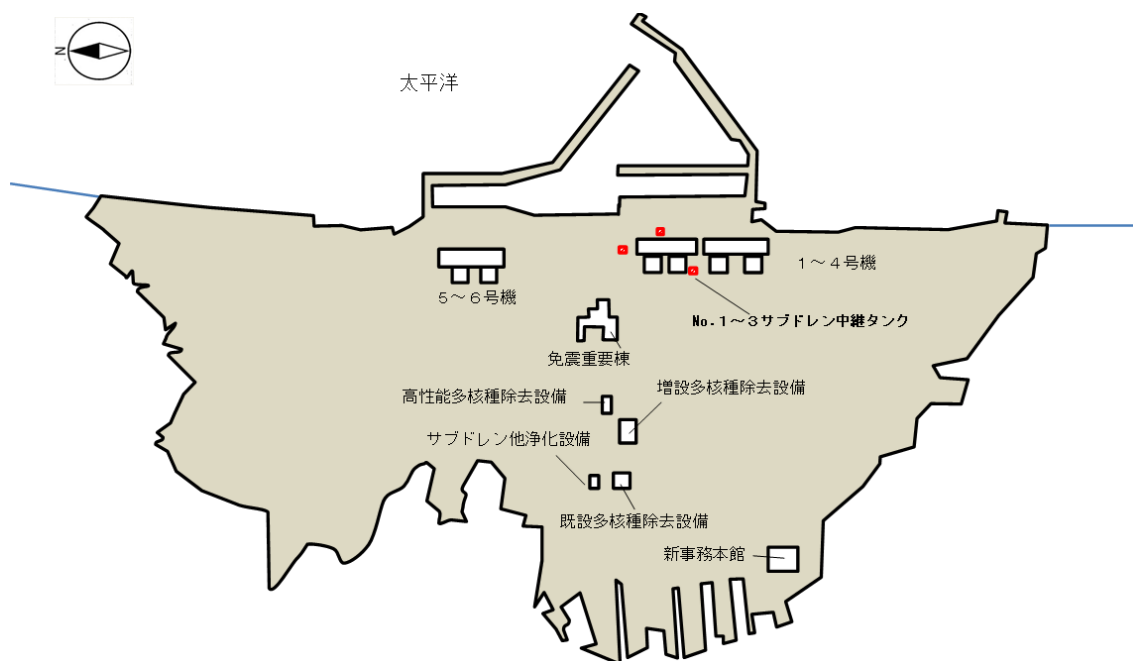
4 確認結果の概要

東京電力は、地下水が原子炉建屋等へ流入することにより増加する汚染水の量を低減する対策として、サブドレンを設置している。

サブドレンは、原子炉建屋周辺の地下水を汲み上げて浄化・排水することにより、建屋へ流入する地下水量の低減を図る設備である。サブドレンピットから汲み上げられた地下水は、サブドレン中継タンク及びサブドレン集水タンクを経由した後、サブドレン浄化設備において浄化されている。

今回はサブドレン中継タンクNo. 1～No. 3の設置状況を確認した。（前回確認：令和5年11月30日（中継タンクNo. 1））

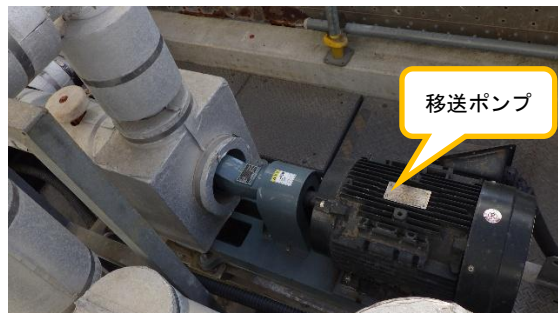
- ・サブドレン中継タンクはタンク、移送ポンプ、サブドレンの水位を制御監視している常用システム現場制御盤（SDP）及びバックアップシステム現場制御盤（RIO）で構成されている。（写真1）
- ・現場確認時、サブドレン中継タンクNo. 1～No. 3において移送ポンプは稼働していなかった。（写真2）
- ・タンクの周辺は70cm程の堰になっており、万が一タンク内の水が漏えいしても、堰内に留まるようになっていた。（写真3）
- ・確認した範囲では、設備及び配管からの漏えい等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) タンクの設置状況



(写真1②) 移送ポンプの設置状況



(写真1③) SDP制御盤の設置状況
※通電している



(写真1④) RIO電源盤の設置状況



(写真2) 流量計の表示(0.00m³/h)



(写真3) 堰内の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。